



第九十八号 令和元年十月一日(火)発行

作左の会 新規事業が順調にスタート

作左の会では、地元の皆さんにも気軽に参加していただける活動を目指し、今年二つの事業を始めましたので、その活動状況を紹介します。

作左俳句会(さくざく句会)

会員は現在十三名(男子九名、女子四名) 毎月第三水曜日の午後、西部学区市民ホームで行っています。「仲間同士で、わいわい言いながら楽しむ」をモットーに始めました。
初心者が多い中、特定の先生は

おりませんが、経験者に的確なアドバイスをいただきながら会を進めています。

俳句を始めてからは、今まで漠然と眺めていたものを、より注視する気持ちも沸き、ボケ防止にもよいかな……と。そんな思いで昼からの二時間程度を楽しみ過ごしております。

地域の歴史を探る会

開催状況は、二か月に一回土曜日としております。
参加者は、八十歳以上の年配者

を始め、幅広い年代層で、二十人からスタートし、その後のロコモにより現在は二五名に増えました。

歴史を知るには、まずお寺を訪ねることが大事な要素である
と思ひ、学区内のお寺を訪ねることとしました。

住職からのお話と、寺の由緒を知る中で地域の歴史を探る場としていきます。参加してみると、近くにいなながら、意外と初めて知ることが多く、新しい発見もあります。

「ディスカバー六ツ美西部」といったところでしょうか。

自分たちの現在住んでいる所がどの様な所か、どんな歴史があるのか、誰しもが知りたいもの
のようです。



第二回法性寺にて

今年学区のお寺を二回実施しましたが好評でしたので、会員でなくてもお近くのところであれば参加もできますので是非ご参加ください。ちなみに第三回は、中之郷の大聖寺を予定して
います。 日時は十月十二日(土)十時から十一時半ですので、
お気軽にどうぞ。

※これら事業の入会は随時受け付けます。事業を通じ、学区の皆さんのさらなる交流の輪が広がることを期待しています。